

小学校 生活科学習指導案

芸北町立芸北小学校 佐々木 良子

1 対象学年 第1学年 4名, 第2学年 4名, 計8名

2 単元名 秋となかよし - 秋のわくわくランドをひらこう -

3 単元について

・児童観

本校は、周りに山や川があり、豊かな自然に恵まれた場所に位置している。秋になると、校庭や野山の樹木の葉が色づき始め、自然の様子に変化がみられる。また、人々の生活の中にも季節の変化が感じられる。

しかし、子どもたちの中には、こうした豊かな自然にじっくりと向き合い、その美しさや素晴らしさを意識することなく過ごしてしまっている子が多い。また、季節の移り変わりについても、自然の事象を見て「秋」を意識しているものではなく、ただ何となく季節を感じていると思われる。

・単元観

本単元では、地域の自然の中へ積極的に出かけ、思い切り活動する中で、何となく感じている季節の変化を明確にとらえ、季節を自分たちの活動の中に取り入れて楽しむことができる子どもを育てたいと考える。

また、地域の自然に直接ふれながらさまざまなことを発見する中で、豊かな感性や表現力、想像力を身に付けることができると思う。

・指導観

指導にあたっては、春に探検した山や神社などに出かけて行き、自然の中で思い切り秋を楽しんで遊ぶ中で、季節の変化を感じ取らせたい。また、そこで見つけた秋の材料を使って製作活動をしたり、みんなで育てた作物を使って調理をしたりする。

さらに、子どもたちが体感した秋を、日頃から交流している幼稚園児にも紹介する活動を仕組んでいきたい。その中で、自分たちで計画を立てたり、協力したりする大切さや楽しさを味わわせていきたい。

4 単元の目標

- 身近な暮らしや自然の中で秋らしさを見つけ、春との違いに気付いたり、秋が実りの秋であることに気付いたりすることができる。
- 育てた作物を収穫し、調理して楽しく食べることができる。
- 秋見つけで分かったことや楽しかったことを友だちに知らせることができる。

5 観点別達成目標

生活への関心・意欲・態度

- ・身の回りの自然や暮らしの中の秋らしさに関心をもって，遊んだり探したりする。
- ・落ち葉や木の実を使って，作品をつくろうとする。
- ・春から育ててきた作物を楽しみながら取り入れ，収穫の喜びを味わうとともに，収穫した作物の調理に進んで取り組もうとする。

活動や体験についての思考・表現

- ・地域を探検して秋らしいものを見つけことができ，それらを絵や文で表現することができる。
- ・見つけた秋の素材の特徴を生かしたり，組み合わせたりして，作品をつくることができる。
- ・見つけた植物や虫の名前を調べたり，虫を飼ったりして，それらの特徴に気付くことができる。

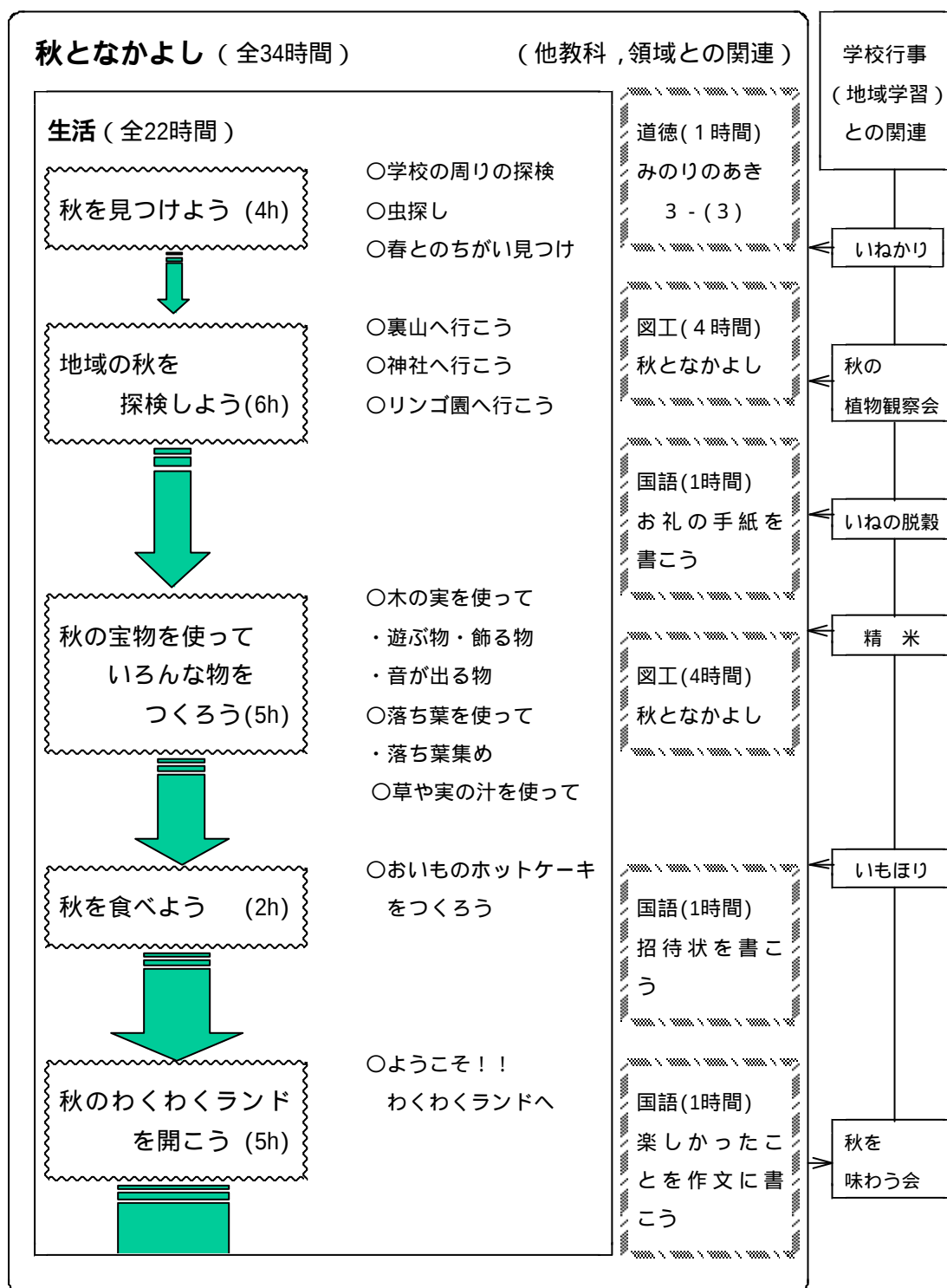
身近な環境や自分についての気付き

- ・秋見つけをする中で春との違いに気付くとともに，秋は実りの季節であることにも気付く。

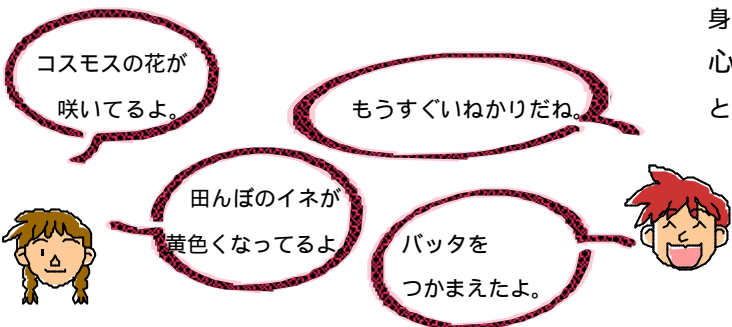
6 指導計画（全34時間）

第1次	秋を見つけよう	 5時間 (道徳1時間含む)
第2次	地域の秋を探検しよう	11時間 (図工4時間，国語1時間含む)
第3次	秋の宝物を使っているいろんな物をつくろう	 9時間 (図工4時間含む)
	秋を食べよう	 2時間
第4次	秋のわくわくランドを開こう	 7時間【本時6/7】 (国語2時間含む)

7 単元の基本構想



8 展開の概要と評価計画

時	【子どもの活動と教師の支援】	【評価】
第1次	○学校の周りで秋を見つけよう。  ○秋の草むらにはどんな虫がいるのかな。 ・コオロギが鳴いているよ。 ・教室で飼いたいな。 ・虫のすみかをつくろう。 虫に関する本や資料等を準備しておく。 ○春と秋のちがいを見つけよう。 ・春に咲く花と秋に咲く花があるね。 ・春には、虫がいなかったよ。 ・いもは春にうえて、秋にほるんだね。 ○気が付いたことを「見つけたよカード」に書いておこう。	関・意・態 身の回りの秋らしさを関心をもって見付けようとしているか。 子どもが、秋見つけピンゴカードに見つけたことを記入するように、言葉掛けをする。 思考・表現 見つけた植物や虫の名前を調べ、それらの特徴に気付くことができたか。 身近な環境・気付き 春とのちがいに気付くことができたか。 子どもが、書きやすいカードを選んで書けるように準備をしておく。
第2次	○秋の野山を探検して、自然の材料さがしをしよう。 ・春に行った山を、また、探検したいな。 ・神社にもまた、行ってみよう。 神社で ・ドングリがいっぱい落ちてるよ。 ・拾って帰って何を作ろうかな。 ・まつぼっくりもあるよ。 探検した山で ・赤い実もなってるよ。 ・この紫の実果汁が出そうだな。 ・このツルはリースができそうだね リンゴ園で ・リンゴが大きくなってるよ。真っ赤だよ。 ・お礼の手紙を書こう。 子どもが、安全に留意して遊んだり材料さがしをしたりできるよう環境整備をしておく。	関・意・態 進んで材料探しをしているか。 身近な環境・気付き 秋は収穫の時期であることに気付くことができたか。

第3次 いろいろな物を作ろう	○秋の宝物を使っているな物を作ろう。 木の実を使って ・ ドングリごまを作りたいな。 ・ ドングリでウサギができたよ。 ・ 入れ物に入れて振るといい音がするね。 ・ 楽器になったからみんなで合奏したいね。 落ち葉や実を使って ・ 落ち葉でキツネができたよ。 ・ カードやしおりを作ろう。 草や実の汁を使って ・ ヨウシュヤマゴボウで紫色の水ができたよ。 ・ 紙を染めてみよう。 おいもでおやつを作ろう ・ みんなで掘ったおいもをゆがいて食べたいな。 ・ ホットケーキの中に入れていもホットケーキを作ろう。 ・ 困っている児童へは、そばについて言葉掛けをする。 ・ 児童の様子を見守ったり、励ましたりする。 関・意・態 落ち葉や木の実を使って進んで作品を作ろうとしているか。 思考・表現 見つけた秋の素材の特徴を生かしたり，組み合わせたりして作品を作っているか。 関・意・態 収穫した作物の調理に進んで取り組もうとしているか。
第4次 秋のわくわくランドを開こう	○秋のわくわくランドを開こう！ ・ 今までの活動で作った作品を集めて「秋のわくわくランド」を開こう。 生き物広場の時みに幼稚園さん呼びぼうよ。  木の実のお店を開きたいな。 葉っぱのカードを幼稚園さんと一緒に作りたいな。  メダルやさんもいいな。 ・ 作った楽器の演奏もきいてもらいたいね。 ・ 看板がいるよ。 ・ みんなで協力してやらなきゃね。 ・ 楽しかったことやがんばったことも，発表したら，どう？ ・ 幼稚園と連携を行う。 ・ 児童のがんばっていたところやよさを取り上げ，みんなの前で認める。 関・意・態 収穫した作物の調理に進んで取り組もうとしているか。 思考・表現 作った作品を分かりやすく説明できたか。 関・意・態 人の気持ちを意識して活動できたか。

9 本時の学習

(1) 本時のねらい

○自分の役割を果たし、積極的に活動しようとする。

○秋の素材を使った活動を紹介したり、幼稚園児と一緒に遊んだり作ったりすることを通して、友だちと「秋」を楽しむことができる。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	支援と評価(○支援, 評価)
1 本時の学習課題をつかむ。	クラスのめあてと個人のめあてが確認できたか。
【楽しい秋のわくわくランドにしよう。】	
2 幼稚園児を迎えに行く。 スタンプラリーの用紙を渡す。	○出会いの活動を大切にするために、手をつないだり、話しかけたりするなど温かい雰囲気づくりをするように助言する。
3 各係の活動を行う。 ・はじめのあいさつ ・歌と手作り楽器の合奏 「おもちゃのチャチャチャ」 ・お店の紹介	○人前で話すときは、すべての人に分かるように声の大きさや内容を考えて話すように助言する。 木の実で作った楽器で楽しく演奏しているか。 自分たちのお店のPRが分かりやすい内容になっているか。
4 お店に来た幼稚園児に作品の作り方を教えたり、ゲームの仕方を教える。	○楽しい雰囲気、安全に活動できるように児童や幼稚園児の様子を見たりつぶやきを聞いたりしながら、個々に応じた支援をする。
秋の色水やさん ・ヨウシュヤマゴボウの実の汁遊び ・お絵かき ・しきもの	○児童が材料や道具などを安全に使えるように支援をする。
秋のゲームやさん ・アメリカセンダングサとオナモミの種の当て ・ドングリごま回し	○幼稚園児が困っていたり、やり方が分からないような様子だったら、声をかけたり一緒に作ったりするように助言する。
秋のがっきやさん ・ドングリのマラカス ・木の実のたいこ	友だちと協力しながら、積極的に活動しているか。

秋のカードやさん ・葉っぱのしおり ・葉っぱカード 秋のメダルやさん	幼稚園児と一緒に作ったり遊んだりすることを楽しんでいるか。
5 活動を振り返り，感想を発表する。 6 片付けをする。	○共に活動して楽しかったこと，うれしかったことについて感想を出し合えるように一人一人に言葉掛けをする。 心に残ったことについて発表できたか。 ○忘れ物がないかどうか確かめるなど，最後まで関わり合いながら活動できるように言葉掛けをする。 協力して片付けができたか。